

北九州テクノサポート通信

北部九州地域の産業発展に貢献する

Kitakyushu Techno-Support



NPO法人 北九州テクノサポート

〒800-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号 TEL:093-783-1453 FAX:093-783-1453 E-Mail:npo-kts@npo-kts.org.jp URL:http://www.npo-kts.org/ Vol. 15

平成22年 夏号

NPO法人 北九州テクノサポート 会長挨拶

小川 勝



昨年度は、福岡県や北九州市、北九州産業学術振興機構、西日本産業貿易コンヘンション協会、北九州大学等から受託事業や、九州工業大学への会員派遣などあり活動の場が増えました。会員の皆様からも会の運営管理費として多額の寄付もいただきました。関係機関をはじめ賛助会員・会員の皆様、またこの間、九州経済産業局のご指導もいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

経済情勢は、一昨年のリーマンショックで大きな打撃を受けましたが、政府の景気対策によりテレビや自動車が好調でまた輸出も伸びている現状で、2010年度に続き2011年度もプラス成長が見込まれます。然し一方では、景気対策の息切れや欧州の景気低迷が悪影響を与える惧れ・不安があります。

このような情勢下で、中小企業の皆様にお役に立つようなことが出来るのか、どのような体制、方策でそれが実現できるのか、自問自答する中で、役員改選で新執行部が発足いたします。昨年度から実績を積んだ事業企画Grは今年度も継続して活動します。中小企業が苦手とする販売についても今後は販売支援Grを立ち上げ会員の幅広い人脈を通してお役に立っていきたいと考えています。会員の皆様の積極的な参画を得、中小企業、行政や公設機関、大学等から信頼される団体を目指します。よろしくお願いいたします。

Topics. 1

平成22年度 北九州テクノサポート総会を開催

平成22年6月15日(火)に北九州テクノセンターにおきまして、平成22年度総会が開催されました。 冒頭、小川長の挨拶、並びに議長選出し、次の4つの議案について、すべて異議なく了承されました。

第1号議案(平成21年度事業報告) 第2号議案(平成22年度事業計画) 第3号議案(定款変更) 第4号議案(役員選出)

平成21年度事業報告

アメリカでのサブプライム問題に端を発する未曾有の経済危機に直面した世界経済は類を見ない規模での混乱に直面したが、ようやく立ち直りの様相も見え始めた。

そのような中で、北九州地域の根幹とも言える「企業へのモノづくり支援」や「地球環境問題」への取組みの中で、福岡県が進める「水素エネルギー戦略」や北九州市の「環境モデル都市構想」などを始め、各分野への活動に積極的に取り組んだ。

定款の変更(役員任期の変更)

変更内容:役員任期2年を1年に変更する。 変更理由:執行部の活性化のため。



平成22年度事業計画

一昨年度後半にアメリカでのサブプライム問題に端を発した未曾有の経済危機も回復の兆しが見えて来たとはいえ依然低迷している状況のなかで、北九州地域産業の根幹とも言える「ものづくり技術の高度化」への支援をさらに強化して行きたい。中小企業等の「技術力の強化」、「新しい技術の開発」や、「新規事業」へのニーズを収集・把握し、大学・公的機関と協力し、そのシーズを広範に探索し、産官学の連携を支援し、地域の活性化に貢献する。

北部九州地域の自動車産業集積化の 充実化に加えて、低炭素化社会に向けた 産学官の取組みがスタートしている昨今、 地元産業の発展のためには産学官連携活動は益々重要度を増してきており、関係機 関と協力し本年度も支援活動を展開する。

福岡水素エネルギー戦略会議の中の「家庭用燃料電池 補機類」へ地元企業の参入支援については一昨年来、活動メンバーを決めて積極的な協力を推進してきたが、本年度も引き続き推進していきたい。ものづくり技術高度化支援では既存分野にとどまらず新規分野・新規事業に着し、支援活動を推進する。中小企業等への「専門家派遣」や「商品の販売支援」を通じて、各方面・分野への支援活動の発掘・提案等を、事業企画Grを軸に各支援Grと連携して行い、新規支援事業開拓を推進する



役員紹介 平成22年7月1日現在

会 長 事務局長 副 会 長 小川 勝

石川 浩、小林敏郎 重藤將美、安東 静

支援Gr長

事業企画Gr長 石川 浩 産学連携支援Gr長 影山隆雄 ISO·EA21支援Gr長 小川 勝 環境技術支援Gr長 藤原利久 IT支援Gr長 安東 静 販売支援Gr長 山本倖暉 広報支援Gr長 重藤 將美 EA21事務局長 藤原 成種

理事

安東 静、石井 剛、石川 浩、磯村福義、小川 勝、影山隆雄、小林敏郎、後藤禎二、重藤將美、藤原成種、藤原利久、松隈 齊、山本倖暉、吉開 悟

監事:増田幸一

平成22年6月15日の総会により理事が選任され、 その後の臨時理事会において会長・事務局長・副 会長が選任されました。



Topics.2



来賓挨拶: 福岡県商工部長 塚元 憲郎 様

「NPO法人北九州テクノサポートの第8回通常総会」の開催、おめでとうございます。また、日頃から本県産業の振興 に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。貴会におかれましては、「モノづくりの支援を通じて産業振興を図り、まち づくりに貢献する」理念のもと、経験豊かで豊富な知識・技術を有する先輩方の力を結集し、技術・経営支援部会や産 学連携支援部会など様々な部会事業などの活動に意欲的に取り組んでこられました。

平成21年度は、「世界の環境首都」北九州市にふさわしい取り組みである、エコアクション21地域事務局福岡の事 業において実践講座やコンサルティング、認証取得支援などを強力に推進されるとともに、本県の事業につきまして も、「家庭用燃料電池分野への地元企業の新規参入支援」、「福岡県自動車関連産業人材育成事業への活動支援」な ど、会員の皆様に多大なる御協力をいただきました。この場をお借りしまして、小川会長をはじめとする会員の皆様方 に感謝申し上げるとともに、深く敬意を表します。

本県の経済は、生産については持ち直しの兆しが見えてまいりましたが、消費、設備投資については依然として低い水準が継続しているな ど厳しい状況が続いています。この難局を乗り切るためには新たな製品やサービスを開発し、世界市場を創造、開拓していかなければなりま せん。本県は、年明けに「福岡・アジア国際戦略特区構想」を打ち出しました。この特区は、本県が自動車、先端半導体、水素エネルギー、バ イオなど先端成長産業の育成、集積により培ってきた高度な技術や豊富な研究成果、優秀な人材を大いに活かし、税の優遇、集中投資など 総合的な政策を展開することで、アジアの活力を取り込み、我が国を新しい成長に導くという、従来の規制緩和特区と全く異なった新総合特区 政策です。福岡県が持つポテンシャルを最大限に発揮して、日本を牽引する拠点となることを目指してまいります。

皆様におかれましても、豊かで繁栄する福岡県づくりに一層の御支援と御協力をお願いいたします。最後にNPO法人北九州テクノサ ポートの更なるご発展、並びに、お集まりの皆様の御健勝、御活躍を心から祈念いたします。

代読 福岡県商工部 新産業·技術振興課 課長技術補佐 赤尾哲之 様

平成21年度事業活動総括

本年度も福岡県や北九州市の支援を受けて、(財)北九州産 業学術推進機構の「福岡県自動車関連産業人材育成」、「高 度基盤技術ポテンシャル調査」及び九州工大の「研究活動の 基盤データベースの整備と研究支援体制の構築」などの協働 事業を推進した。更に、エコアクション21地域事務局福岡の業 務受託も5年目となり環境活動の基盤も軌道に乗ってきたと云 える。

また人材協力の面でも、引き続き九州工業大学, 九州大学 を始め、各種の公的機関へも支援協力員を派遣するとともに、 企業ニーズ調査などの業務協力を行った。

■主要活動実績は以下の通り

- 福岡水素戦略の家庭用燃料電池 補機分野への支援 (福岡県商工部 新産業技術振興課水素班)
- ・福岡県自動車関連産業人材育成事業への専門家派遣 (FAIS産学連携センター)
- ・高度基盤技術ポテンシャル調査(FAIS産学連携センター)
- ・研究活動の基盤データベース整備と研究支援体制の構築 (九州工業大学)
- ・エコアクション21地域事務局福岡 業務受託

((財)地球環境戦略研究機関)

- ・エコアクション21実践講座等のグループ研修業務受託 (北九州市環境局、佐賀市、下関市)
 - ・福岡県エコ事業所応援事業のエコアクション21グループ 研修 業務受託 (福岡県環境政策課)
- ・企業および大学、公的機関への人材派遣 ((財)福岡県 中小企業振興センター、九州工業大学、九州大学)
- ・中小企業支援センターへ相談員及び専門家派遣
 - (FAIS中小企業支援センター)
- ・北九州TLOライセンス活動業務 業務受託

(FAIS知的財産部)

・九州大学社会人教育(MOM講座)への協力

(九州大学大学院工学府)

- ・ハイフォン市との交流・協力事業に係る北九州市内企業 のニーズ調査 (北九州市立大学)
- ・中小企業テクノフェア2009への協力 ((財)西日本産業貿易コンベンション協会)



北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中> NPO-KTS四季報Vol.15広告1-2

経営理念【社是】

私たちは、国家社会を支える重要な仕事 をもつことを誇りとし、きびしい自己反省 とたゆまぬ創造開発によって会社の発展 と人間幸福の実現に努力します。

大光炉材は、ユーザーニーズへの迅速・確実なレスポンスをモットー に、独自の技術開発力を武器にダイナミックな展開をしています。



大光炉材株式会社

本社: 〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町1-1 TEL:093-871-1631(代) FAX:093-883-2151

http://www.taiko-ref.com



産業廃棄物処理 プラスチックリサイクル 溶剤リサイクル

高野興産株式会社

本社北九州市八幡西区御開2丁目5-1 TEL 093-691-279 北九州エコタウン工場 北九州市若松区響町1丁目62-19

URL: http://www.takano-k.com/

Topics.3



来賓挨拶:財団法人 北九州産業学術推進機構 専務理事 尾上 一夫 様

本日は所用のため國武理事長が出席できませんので、代わってご挨拶を申し上げます。

NPO法人北九州テクノサポートにおかれましては、地域企業への支援、産学連携のコーディネートなど幅広く活動され、北九州の産業振興、まちづくりに貢献されています。

昨年度の事業報告や今年度の事業計画を伺いましたが、NPO法人設立後も活動が更に充実してきており、敬意を表する次第です。

本機構とKTS(北九州テクノサポート)とはいろいろな面で関係があり、中小企業支援専門家派遣事業やTLO活動、技術調査等でご協力をいただいております。

この4月には、商工会議所、九州工大等と連携して「中小企業応援センター」を開設しました。ここでは、中小企業に対する相談、専門家派遣などが更に進められてくるものと考えています。

また、KTSでも積極的に取り組もうとされています低炭素化に対しては、本機構も産学連携を進めながら技術開発支援に取り組んでまいる所存であり、KTSとも協働していきたいと考えています。

北九州市は今年6月に「アジア低炭素化センター」を開設しました。北九州の環境技術や社会技術をアジアに向けて着実に移転できるものと思っています。

このような状況の中で、KTS会員の皆様の豊富な経験、専門知識、専門技術を活かすことが期待されています。 最後に、NPO法人北九州テクノサポートの皆様の今後のご活躍とご発展を祈念して挨拶に代えさせて頂きます。

平成21年度 各支援グループの活動状況

1.産学連携支援グループ

平成21年度は、平成20年度に引き続き、(財)北九州産業学術推進機構産学連携センターより、工業高校を対象にした福岡県自動車関連産業人材育成事業を行うと同時に、北九州TLOシーズのライセンス支援活動を受託し、北九州市並びに周辺地域の中小企業を中心に、TLOシーズの紹介や普及活動を実施して、事業化や起業を支援した。

また新規に、北九州市立大学より受託して、ベトナム・ハイフォン市との経済交流に係わる北九州市中小企業のニーズ調査を 実施した。さらに九州工業大学に協力してコーディネーターを派 遣し、教育研究の高度化に係わるデータベース整備と研究開発 体制構築を実施した。

(財)九州産業技術センターにおけるマッチングプロデューサー活動及び福岡ものづくり産振会議における福岡ものづくりアドバイザー事業も平成20年度に引き続き継続している。

また九州大学大学院工学府の「ものづくり工学研究センター」より、社会人を対象とした中核人材育成コース(MOM講座)の企業への紹介と受講生募集並びにカリキュラムへの助言提案など、講座運営に関して協力支援を行った。加えて、福岡水素エネルギー戦略会議で検討中の家庭用燃料電池の補機類について、地元企業の参入を図るために、コーディネーターとしての役割を担った。

2.環境技術支援グループ

平成21年度も中小企業支援センター(FAIS)や大学、公的機関への相談員・専門家の派遣を継続中。

さらに、企業や行政、公的機関、(財)北九州産業学術推進機構(FAIS)と連携し、当法人の業務の理解活動と支援協力についてPRに務めた。

特に、北九州地域の「高度基盤技術ポテンシャル調査」に

於いては、調査レポートの内容が非常に充実しているとの評価を受けておりKTS会員の技術レベルの高さと、今後の調査活動に期待が寄せられている。



■九州工業大学長期インターンシップ、工場見学(左)と成果発表(右)



2度減システム 地球高温化対策、CO2削減を目

北九州地域のモノづくり企業の紹介 ■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中> NPO-KTS四季報Vol.15広告3-4





株式会社有薗製作所

当社は、人生にやさしい 福祉・医療器具の総合メーカーです! 障害児・者及び高齢者の必要とする義肢装具サービスの提供をします。



代表取締役 有薗 央 〒805-8538北九州市八幡東区東田1-7-5 TEL:(093) 661-1010 FAX:(093) 661-1670 URL http://www.arizono.co.jp/top/



的として壁面緑化「2度減システム」を推進します!

CASLE co., Ltd.



代表取締役

渡邊 健司 Kenji Watanabe

カースル株式会社

URL http://www.casle.co.jp

〒800-0115 北九州市門司区新門司1丁目9-6 TEL:093-481-1212

平成21年度 各支援グループの活動状況

3.ISO.EA21支援グループ

平成21年度、ISO14001の認証取得コンサルティングを1件受注した。ISO9001の受注はなかった。ISO14001の内部監査員養成研修を1件受注した。

エコアクション21への事業者の関心を、自治体イニシャティブプログラムや企業等が主体で推進するグリーン化プログラムを実施することにより喚起し、認証取得がすすんだ。この両プログラムに協力して、グループ研修のコンサルタントを派遣し貢献してきた。具体的には、自治体イニシャティブプログラムを実施したのは北九州市、佐賀市、下関市、グリーン化プログラムは、福岡県であった。





また、エコアクション21の認知度向上、普及、及び認証取得事業所PRを目的に「エコアクション21たより(KTSニュース瓦版)」0.4号を発行した。

5. 広報支援グループ

NPO法人北九州テクノサポートの目的及び組織、事業のPR・広報について昨年度から全面的にリニューアルした「北九州テクノサポート通信」の内容の充実と賛助会員並びに広告会員の獲得に重点を置き活動した。

- (1)会報「北九州テクノサポート通信」(年2回発 行)の紙面刷新と広告支援企業の広告デザインを一新し、配布の迅速化を図った。
- (2)各活動の展開や機会を活用し知名度アップのため大手企業のトップの新春放談を掲載した。また、「中小企業の挑戦→戦略の方向と戦術の深み」・「ユビキタス型研究データベースの整備と連携プロジェクトの創出・産学連携におけるマッチングの心得」の記事を掲載した。
- (3) 賛助会員6社、広告会員6社で、賛助会員+1社・広告支援企業-1社。



4.IT支援グループ

(1)中小企業へのIT支援事業として、小倉南区企業のホームページ新規作成を支援した。また門司区企業のホームページの更新方法の指導をした。

(2)NPO·KTS内IT支援事業

- ①当NPOのホームページについて、定款の掲載、会員の 寄付金の掲載、正会員及び賛助会員の申込書の改正、 事業計画等の更新、広告の入替、等々を実施した。
- ②当NPOのEA21地方事務局 福岡の交換情報の多様化と事業量増大に対応するため、PCシステムに下記設備の増強を実施した。
- ・Desk Top PC 3セットのLAN接続で構成するシステムの中の最旧機(6年使用)のハードディスクの読取りが不能になったので、昨年9月Windows Vista,Office2007つきのDesk Top PC Dell Vostro 220sにリプレース、本年2月にWindows 7にグレードアップした。
- ・RAID機能搭載ハードディスクによるネットワークを整備した。
- ■北九州市平尾台





6. エコアクション21地域事務局 福岡

平成21年度も、自治体イニシャティブプログラムおよび関係企業グリーン化プログラムを実施することにより、エコアクション21の認証取得を目指す事業者に対し支援した。プログラムの最終回まで受講した45社が主体となり、平成22年度には認証取得をするものと期待している。

特筆すべきは、北九州市のご尽力により、従来、認証取得が少なかった市内の建設業者が多数プログラムに参加をみたこと、また、認証取得事業者の交流会が開催出来たことである。

さらに、九州地区全地域 事務局の努力で、九州地 区審査人力量向上研修会 が、全国の他地域に先駆 けて開催できた。



北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中> NPO-KTS四季報Vol.15広告5-6



株式会社 神垣組

神垣組(かみがきぐみ)は左官 工事と、環境に配慮したモルタル・コンクリート製品の開発製造 を行う会社です。

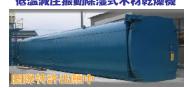
■私たちは、建築左官の伝統的技術と新素材の開発で、今後とも社会に貢献し、次世代にこの技術を残していきたいと考えます。 URL http://www.kamigakigumi.co.jp/

代表取締役 神垣 三次

〒819-0165 福岡市西区今津5413-10 TEL(092)806-6070 FAX(092)806-6070

佛加来野鄉作所

窓を塞路 (元) つ 世 界 初 低温減圧振動除湿式木材乾燥機



小型万能乾燥機

オガ粉製造機バーク粉砕成形機 木資源リサイクル製品 リサイクル製造プラント

(株) 加来野製作所 福岡県豊前市大字宇島76-19 TEL:0979-82-3888 FAX:0979-82-1509 URL http://www.kakuno-seisakusyo.com/

特別講演会

「産学連携を活用した教育と研究の高度化」(副題)世界的拠点を目指した地域と協働した九工大の戦略

講師:国立大学法人九州工業大学 学長 松永 守央 様



1. 社会変化に対応する大学の役割・・<大学は文明の発電機>

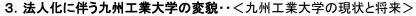
直面している21世紀で知の時代等と言われている。何が大きく変わったかといえば、グローバリゼーションとインターネットとバイオテクノロジーは、明らかに産業構造を著しく変え、世界諸国の経済水準を大きく変える要素になっていると考える。それを加速したのは市場価値観である。16世紀から続いた経済的な価値は、基本的には先進国が開発途上国に物を流すことにより先進国が富むというスキームが、経済価値が時間軸に変わったことが大きいと考える。

歴史小説家(司馬遼太郎)が大学の重要さは何かということを、彼の言葉で「文明の配電盤」と言っている。しかし、大学は文明の発電機にならなければならないのではないかと考える。次の文明というと大げさであるが、次の時代を作っていくために大学が存在しなければならない。

2. 大学の理念と使命・・く「技術に堪能なる士君子」の養成>

本学は安川敬一郎先生が私財を投じて創設し、東京大学総長をやめられていた山川健次郎 先生をお呼びして成立した。山川先生が言われた「技術に堪能なる士君子」の養成という言葉 は、建学以来100年間受け継いできた理念である。

大学はどうあるべきかと、6年前国立大学が法人化された時、色々な議論をした。その結論を一言で言うと「それまでの知的共同体から知的経営体へ」ということになる。大学の使命は当然教育にある。研究をすれば、それは社会に還元できることをやらなければならない。各大学が其々違った特色を持って、その中で九州工業大学はどういう特色を持つかが重要である。この観点で我々は、地域と国に対しての責任を達成できるのではないか。当然教育の内容も違ってくるはずである。このような視点で本学の特色を追求したいと考える。



3-1.経営と運営: 平成16年度に法人化した。現在までの間に「教職員の個性を大切にする大学へ」「活動基盤が保障される大学に」等、運営・経営の改革をやっている。この姿勢を貫けば最終的には国からの運営交付金に左右されない財政基盤が出来ると考える。

3-2.教育と学生支援:教育については、九州工業大学の評価で一番に出てくるのは、就職率がよいことである。これまでの実績、一方では懸念される事項もあるが、一番重要なのは学生が達成感を実感できないと面白くないことである。そのために、何を教えるか?から何を身

につけさせるか?という視点で、双方向教育や学習自己評価システム等の教育方法の改善を図っている。

3-3.研究: 当初平成16年度の取り組みとして、5つの重点プロジェクトセンターを設置した。それぞれが実績をあげて、推移している。外部資金については、法人化前と後で比較すると確実に増加している。

3-4.社会貢献:「産学官連携等の社会貢献活動の強化」については、着実に伸びている。特に地域貢献については、これも非常に高く評価していただける成果を上げている。

4. 日本経済の再興のために・・く北九州モデルを創っていきたい>

前述のように、大学は社会の発電機にならないといけない。そのためには、大学から 出た成果を如何に知的財産にするか、知識として蓄積し、研究して世の中にないものを 生み出すかが重要である。さらに、その知的財産・研究成果を論文にするだけではなく、 産学連携により新しい産業を生み出すような仕組みを作らなければならない。これは大 学単独で出来る話ではなく、地域の皆様方と協働して創っていかなければならない。そ のモデルを大学としては勿論考えますし、民間や行政の方にもモデルを考えていただい て、北九州モデルといわれるような、産業化に結び付く仕組みを創っていきたい。



・の取り組み・事う

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中> NPO-KTS四季報Vol.15広告7-8

GL PIPE JOINTS 好評です



ESS管辮手

パッキンのいらない

新製品賞 '99中小企業 優秀新技術新製品賞 福岡県知事賞 中小企業先端技術展 福岡県知事賞

■北九州市八幡東区西本町4-5-1 <u>TEL:093-681-7195</u>/FAX:681-7196 E-mail:pd-otsuji@daiso.bz

URL http://www.daiso.bz/

□ご質問·お問い合わせは→専用FAX:093-681-7197

自動車用ボディ関係の板金プレス金型設計・製作で 世界をリードする金型専門メーカー



代表取締役社長 内田 末男

株式会社

九州工場 〒823-0011 福岡県宮若市宮田542-38 TEL (0949)33-3145 FAX (0949)33-3146

本 社 〒574-0055大阪府大東市新田本町12-6 TEL (072)874-3377 FAX (072)874-3839

E-mail: info@uchidanet.co.jp

URL: http://www.uchidanet.co.jp



平成22年度 事業計画

平成22年度事業計画

今年度も前年度を踏襲し、地球温暖化防止、二酸化炭素 排出抑制をめぐる自治体の環境産業政策に呼応した協力と 支援を進め、エコアクション21地域事務局福岡を中心に、中 小企業の環境経営をサポートする「エコアクション21認証取得 支援」を積極的に推進すると共に、ISOの認証取得や運用に 関する支援を展開する。

また、企業のIT化に関して積極的に中小企業のニーズを 発掘し、現場に密着した支援活動を行なっていく。さらに、この ような活動を推進するにあたり、その端緒となる当NPO法人 北九州テクノサポートの認知度を高めるため、当法人のPR資 料をもって自治体等の各機関・業界団体・組合・企業等への 広報活動を展開する。尚一方で、活動をさらに広く展開するた め、60才前後の方々へ参加を呼びかけていく。

■事業計画の概要

- (1)地球温暖化防止、二酸化炭素排出抑制をめぐる自治体、な かでも北九州市環境局モデル都市推進室や福岡県環境政 策課の環境産業政策に呼応した協力と支援を進め、環境施 策や環境課題への協力、環境に関する普及啓発実践活動 など積極的に取り組む。
- (2)環境に優しい水素エネルギー利用社会の実現に向けた「福 岡水素エネルギー戦略会議」への協力支援の一環として 「家庭用燃料電池 補機類」へ地元企業の参入支援を推進 する。
- (3)「エコアクション21認証取得」支援は中小企業の環境経営を 支援するものであり、地球環境を守ることから「EA21地域事 務局福岡」を中心として、引き続き業務を広域的に関係機関 と連携し積極的にすすめる。

- (4)(財)北九州産業学術推進機構、中小企業支援センターに は、引き続き「相談員や専門家派遣員、諸調査等」を、北九 州TLOには「TLOライセンス活動」で支援や協力をしていく。
- (5)「ものづくり」支援の一端として、九州や山口の大学や公的 機関のシーズ、企業ニーズを発掘し、その連携を図り推進 することで地域の活性化を図りたい。
- (6)「顧客の相談や依頼」は、ITを介して迅速で的確に対処する ためホームページに相談コラムを設定しており、これらの活 用普及を図り双方向通信による実効ある活動を目指す。 また企業が期待する、実効を目指した変革に即応できる 「ホームページづくり」の支援・協力やITの実践的な運用研 修などを前年度に引く続き推進する。さらに訪問活動による コミュニケーション活動で情報収集を行う。
- (7)「支援・協力員の派遣」は、中小企業や関連機関からの要請 に応じて、そのニーズに相応しい方を紹介し積極的に支 援・協力すると共に、公的機関や大学等にも派遣に協力し ていく。尚、中小企業(川上企業)の特徴ある技術・製品の 川下企業への販売・営業支援を積極的に推進していく。
- (8)「広報活動」については、我々の活動や情報を顧客へ伝え 得るようにNPO法人北九州テクノサポートの案内パンフレット を整備し、自治体等の各機関・業界団体・組合・企業等へ広 報活動を展開すると共に、活動をさらに広く展開するため、 60才前後の方々へ参加を呼びかける手引きとする。また、情 報交換の場としてホームページの充実を図ると共に「NPO 法人北九州テクノサポート通信 を有効に活用して頂けるよ うに、見易く且つ「役立ち情報」など内容の充実を図りたい。

エコアクション21地域事務局福岡

エコアクション21の普及促進及び事業者の認証取得への支援推進に努める。

- (1)今回エコアクション21ガイドライン2004年版が改定され、2009年版が制定された。また業種別ガイドライン改定及び新規設 定が進められている。新しい規定に対する事業者の環境経営システム取組みの円滑化に注力、更なるエコアクション21の 普及、認証取得に向けた事業者支援を「EA21支援部会」と連携する中で活発に展開する。
- (2)北九州市のご尽力により、昨年度から、市内の建設業者が市のでイニシャティブ・プログラム実戦講座に多数参加するよ うになった。今年度はさらに、北九州市建設業協会のグリーン化プログラムも立ち上がっている。これら建設業者が円滑に 認証取得できるよう努力する。
- (3)北九州市産業政策室が今年度からスタートする北九州市環境産業推進協議会を通じ、「ISO・EA21支援部会」とも協力し つつ、環境経営システムの底辺拡大に努める。

北九州地域のモノづくり企業の紹介 ■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

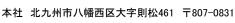
■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中> NPO-KTS四季報Vol.15広告9-10



MATSUSHIMA

代表取締役社長 松島 籱 松 島 機 械 研 究 所

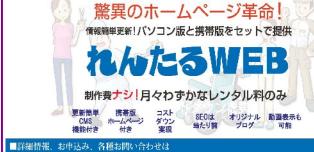


■TEL 093-691-3731 ■FAX 093-691-3735

■http://www.matusima.co.jp

■完全国産化した。 -ダー式マイクロ波レベル計 パルスレ-







FAX: 093-932-2352



新任理事の抱負と紹介

■影山隆雄 産学連携支援Gr長



北九州地域は、企業が主体になった産学連携で、 新事業や新製品を数多く産み出してきた実績があり ます。現在、低炭素社会実現に向けて新たな市場 が急拡大しています。このビジネスチャンスを産学連

携で勝ち抜く中小企業の皆様を、(財)北九州産業学術推進機 構での経験を活かして、しっかりとご支援して参る所存です。

■松隈 齊 事務局付



昨年9月からの九工大での産学連携事業を機に 初めてKTSに加わった新参者ですが、この事業に 参加したことでKTSの会員にはこれまでそれぞれの ■ 専門分野に於いて産業界に多大な功績を残してき

た技術者が数多くいることを実感しました。これらの会員ととも に、我々の経験が活かせる活動の場をこの地元北九州に広げ ていきたいと考えています。

■吉開 悟 環境技術支援Gr



福岡県の「水素エネルギー戦略」や北九州市の 「環境モデル都市構想」など、県や市の環境産業政 策に呼応した協力と支援を積極的に進め、環境工 ■ ネルギー問題の改善、低炭素社会への移行に微力

ながら貢献したいと思います。自治体、関連機関、中小企業、 会員の皆様のご支援とご協力をどうぞよろしくお願い致します。

■藤原利久 環境技術支援Gr長



九工大産学連携コーディネータ事業では30数名の KTS仲間と一緒に仕事をさせて戴き、皆様のすごい 実力に感動を覚えました。その中で恐れ多くも新人 に近い小職がこの大任と時代の環境は少し重すぎる

と思いますが、一生懸命やることで、先輩諸氏を引き継き、皆様 KTSの実力が真に社会に生かされるべく努力致します。

■山本倖暉 販売支援Gr長



前身のTS会時代から機会がある度に活動に参画 してきました。その間老齢化などで退会して会員が 半減してきましたが、作今役員の努力でエコアクション21 を柱に活動の場が拡がって新入会員も増えていま

す。今回理事に就任したのを契機に、新たなる事業の展開を 計っていく所存ですので、皆様方のご協力をお願い致します。

「北九州TLOライセンス活動」がスタート【平成22年度】

今年度も既に活動がスタートしており、当KTS会員が各企 業訪問を行ない、最新の特許技術 (未公開特許)を紹介しております。 企業の皆さん方には、この機会

に是非利用いただき、自社の製品 開発・業績向上に役立て下さい。



「九州工業大学の研究者」 研究情報発刊のお礼と反省

昨年9月より九州工業大学の「教育と研究の高度化事業」には多くのKTS会員にご参加を頂きました。384名の先生方を対象に したデータベース作成でしたが何とか3月末には脱稿して**印刷物**(九州工業大学の研究者・私たちはこんな研究をしています)へ の作業が完了しました。素人集団が先生方をヒアリングして文章に纏める難しい作業でしたが多年の経験と熱意を持って会員の 皆様にはご尽力を頂いたことにチームリーダーとして御礼と感謝を申し上げます。

改めて事業を振り返ると多くの反省があります。はたして大学や先生方の期待したも のができたのだろうか?もう少し要領よく纏めること(文章・人材)が出来なかったのか? と思い返しているところです。一番の反省は「PC操作技能」です。メールを送受信した り、ネット閲覧することは誰にでも出来ることですが写真や図を加工したり、EXCELを

活用して統計を行うという事には不慣れであったと思います。今回は 事務局の女性職員にこの点で大変お世話になりました。心から御礼 を申し上げます。そして有志の方は勤務時間外に自発的な研修会 を催して自らのPC技能を高める努力されたことには敬服しました。

配布前ですが、完成見本が手元に届き、早速大学の各部門からお問い合わせがあったり、企業からの研究者 ご紹介があったりと良い反応が出てきました。本来はデータベースとしてネットに公開して、毎年更新ができるな らばより一層企業や地域に九州工大の先生方を知って頂くことになると今後に期待しています。

九州工業大学 産学連携推進センター 金井忠廣(KTS会員)

北九州地域のモノづくり企業の紹介 ■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中> NPO-KTS四季報Vol.15広告11-12





北九州市戸畑区中原新町2-1 TEL/FAX 093-873-1453

モノづくり企業の事業所めぐり

賛助会員の情報交流コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中

株式会社 加来野製作所

薫風を受けながら一路10号線を南下し「宇島港臨海工業団地」内の加来野製作所を石井理事が訪問し、加来野利光社長様から、ご丁寧な対応と工場見学をさせて頂きました。

■会社の沿革と業況

社訓は"和"、社是は「誠実、根性、忍耐」、スローガンは更なる夢を「目指せ 木材資源100%リサイクル」である。



昭和45年5月、豊前市三毛門町に株式会社加来野製作所を設立、産業機械、機械製缶等を製作、昭和48年宇島港のある現在地に進出し運搬条件が良いため大型プラント、産業機械の製缶を製作し輸出が5割を占め着々と実績を上げました。ただその後時代の変化と共に受注が減り、生き残り策を

模索後、平成15年「木材等生物乾燥機および其れを用いた乾燥方法」を確立し、その後農業用の乾燥機を開発した。

近年の環境資源への配慮から「低温木材乾燥法」等を開発し、副産物に 樹液を抽出・販売、幅広い分野から好評を博している。なお低温乾燥機は 従来の高温乾燥機に比べ品質が変らない(割れを生じない等)、ランニング コストが安い、乾燥後、木材冷却に時間を要せず利用出来る特長がある。

■今後の展開

低温乾燥用に大型の「スーパー龍神」を開発したので幅広い顧客に木材 乾燥等を提供し、農業用(野菜、人参、薩摩芋等)と共に新たに漁業用も開 発し、幅広く良き環境作りに貢献したい。なお顧客の初期投資を容易にする ために各種補助金制度を活用して頂き、更に拡販に努めたい。

■KTSへの期待

販売スタッフが少ないので「KTSの人脈・組織力」を持って巾広くPR活動をお願いし、共に顧客へ環境資源等の有効活用に蓄積された技術を展開して頂き販売支援に期待したい。







株式会社 ジェイ・リライツ

6月3日、後藤理事が同社を訪問し、櫻井社長並びに増本部長からお話を伺いました。当社は平成18年9月にEA21の認証・登録しました。その後エコプロダクツ大賞(H20/12)、資源循環技術・システム表彰(H21/10)、環境活動レポート大賞in九州・廃棄物部門賞(H21/11)を受賞し、資源循環社会及び低炭素社会の構築に貢献して、高く評価されています。

■会社の沿革と業況



当社は九州電力グループの一員で、蛍光管リサイクル会社として平成12年に会社を設立し、今年5月に創立10周年を迎えた。当初は蛍光管リサイクルが理解して頂けなく苦労した。使用済み蛍光管の中間処理からリサイクル蛍光管の製造・販売まで一貫した事業を展開している会社は国内で当社1社のみであり、誇りをもって仕事に従事している。

平成21年度の処理実績では、2040t(810万本相当)、九州地区総排出量の約36%に相当する量である。蛍光管リサイクルに対する理解が広まり、西日本地域の約4400の企業、211自治体と契約をしている。

■今後の展開

当面は現事業を継続して行くが、蛍光管リサイクルはCO2排出低減効果があり、平成21年度の事業活動ではマイナス260tーCO2の効果があったことを広くPRすると共に、更なる処理コストの低減、付加価値サービス・品質の向上に取組んでいく。

■KTSへの期待

厳しい経済環境を踏まえ、コスト低減・品質向上には日々改善・チャレンジが重要と考えている。KTSにはEA21活動の推進についてはこれまでも指導・助言を頂いてきたが、こうした取組みについても相談や情報提供、指導・助言を頂きたい。







◇会社概要

■本社:福岡県豊前市大字宇島76-19

TEL:0979-82-3888 FAX:0979-82-1509

- ■代表者:代表取締役 加来野 利光 ■設 立: 昭和45年
- ■資本金:2,000万円
- ■従業員数: 25名
- ■事業内容: 木材乾燥機、小型万能乾燥機、オガ粉製造機、バーク 粉砕成形機、木資源リサイクル製品、リサイクル製造プラント等

URL http://www.kakuno-seisakusyo.com/

◇会社概要

■本社:北九州市若松区響町1丁目62番地の17

TEL:093-752-2386 FAX:093-752-2387

- ■代表者:代表取締役 桜井 文夫 ■設 立: 平成12年
- ■資本金:27,500万円
- ■従業員: 30名
- ■事業内容:使用済み蛍光管及び乾電池等の中間処理業、

リサイクル原材料による蛍光管の製造・販売

URL http://www.j-relights.co.jp/

■会員・賛助会員の募集(当法人は、会員の会費で運営されております)

企業の第一線をリタイヤされた方の第二の人生を地域社会発展のために貢献・恩返ししてみませんか…? 皆さん方が持っておられる知識・技術・経験・人脈は、次の社会に伝えなければならないし、それは義務でもあり権利でもあります。これからが本格的な社会貢献の時期なのです。当NPO法人を利用して、地域社会の潤滑剤として役立てて下さい。

■会員・賛助会員の会費

- •正会員入会金:5,000円/年会費:5,000円
- 賛助会員(法人)入会金: 10,000円

年会費:20,000円/1口

(個人)入会金: 5,000円 年会費: 5,000円/1口

■プラス α:「中小企業における製品開発資金調達について」

(国や地方自治体が行なっている中小企業向け施策「助成金・補助金」を利用してみませんか?)

- …新製品開発は、企業経営にとって重要な課題の一つです。そこで、皆さん方も良くご存知の助成金・補助金などの利用を考えて見ては如何でしょうか。新年度が4月からスタートしますが、この時期を皮切りに公募が始まります。応募するには即準備に取り掛かってください、公募が始まってからの準備では間に合いません。ただ、書類をつくるのが面倒だと思っている中小企業さんの方も多いのではないかと思いますが…?その時は、当NPO法人にご相談下さい。
- ⇒当NPO法人は、70数名のシニア技術者集団です、その中から貴社ニーズに合った専門家が適切にサポート対応します。

編集後記

北九州テクノサポート通信のページを倍増し、内容を充実させました。出来るだけ、地域の企業・大学・行政 等の活動内容が出来るだけ分かりやすくするよう努力しました。会員並びに地域の中小企業・行政機関の方に も広く「北九州テクノサポート」をご利用下さるようお願い致します。 広報部長 重藤将美



≪詳細情報は下記ホームページから≫

http://www.npo-kts.org/

賛助会員の申し込み受け付中

ホームページから申込用紙をダウンロードして下さい。 技術開発・環境経営の発展を支援します。 NPO法人 北九州テクノサポート 会報「北九州テクノサポート通信Vol.15」

平成22年7月10日 印刷発行

●発行・編集: NPO法人北九州テクノサポート

北九州市戸畑区中原新町2番1号 北九州テクノセンタービル8階806号室 TEL/FAX:093-873-1453 E-mail:npo-kts@npo-kts.org